

農技セ第6501号
平成27年4月7日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成27年度技術情報について

平成27年度技術情報第1号を発表したので送付します。

平成27年度技術情報第1号

平成27年4月7日
徳島県

ハウレンソウベと病レース検定結果において、新たなレースの発生が確認されたことから、今後収穫を迎えるハウレンソウでべと病の多発生が懸念されます。
現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：ハウレンソウ
病虫害名：べと病（新レース）

1.発生地域 県下全域

2.発生時期 4月～

3.発生状況

- (1)平成27年3月18日に、徳島市国府町で栽培中のハウレンソウベと病レース10抵抗性品種「TSP-484」に本病が発生していると検体の持ち込みがあった。当センター資源環境研究課病虫害・鳥獣担当で、本病発病葉から孢子を採取し、噴霧接種により検定を行なったところ、レース1～10に抵抗性を持つ「早生スイング」で発病が認められた(表1)。
- (2)正式なレース検定には、国際種子連盟(ASP-ISF)において策定された検定品種を使用する必要があるため、ここでは「新レース」とする。

4.防除法等

- (1)品種は本病に抵抗性があるものを利用する。作型等の関係で作付けできない場合には、薬剤による防除を徹底する。
- (2)本葉への感染を抑制するため、薬剤は予防的に用いる。本葉2～4葉期に散布し、7日後にもう一度散布する。薬剤散布時には下葉や葉裏にもよくかかるよう、丁寧に散布する。
- (3)罹病株を圃場に放置すると次作の第一次伝染源となるので、発病株は速やかに処分する。また、春先に萎縮して奇形となった株も本病に感染しているので、速やかに処分する。
- (4)防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

表1 ホウレンソウべと病レース検定結果

品 種 名	新レース		レース 8
	べと病抵抗性	検定結果	検定結果
おかめ	なし	+	+
サンピア	R 1～4	-	+
ヴィジョン	R 1～7	-	+
早生スイング	R 1～10	+	-

表中の「+」は発病を確認

品種「TSP-484」から分生子濃度を 1×10^5 個に調整，噴霧接種した。接種後は湿室状態で 15°C 暗黒下2日，その後12時間日長で人工気象器内に静置。